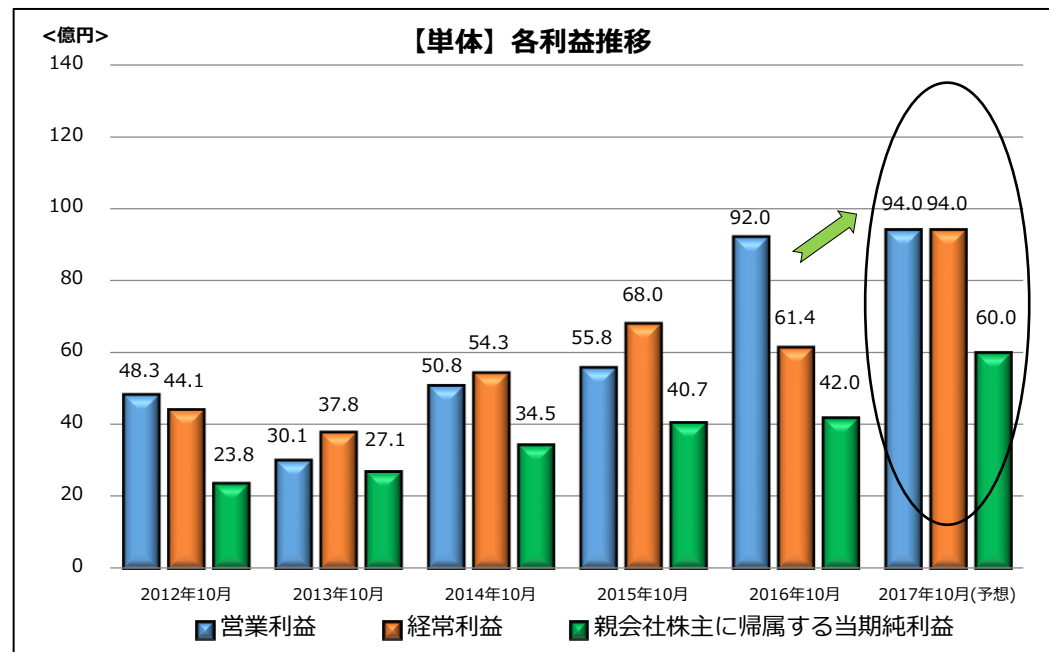
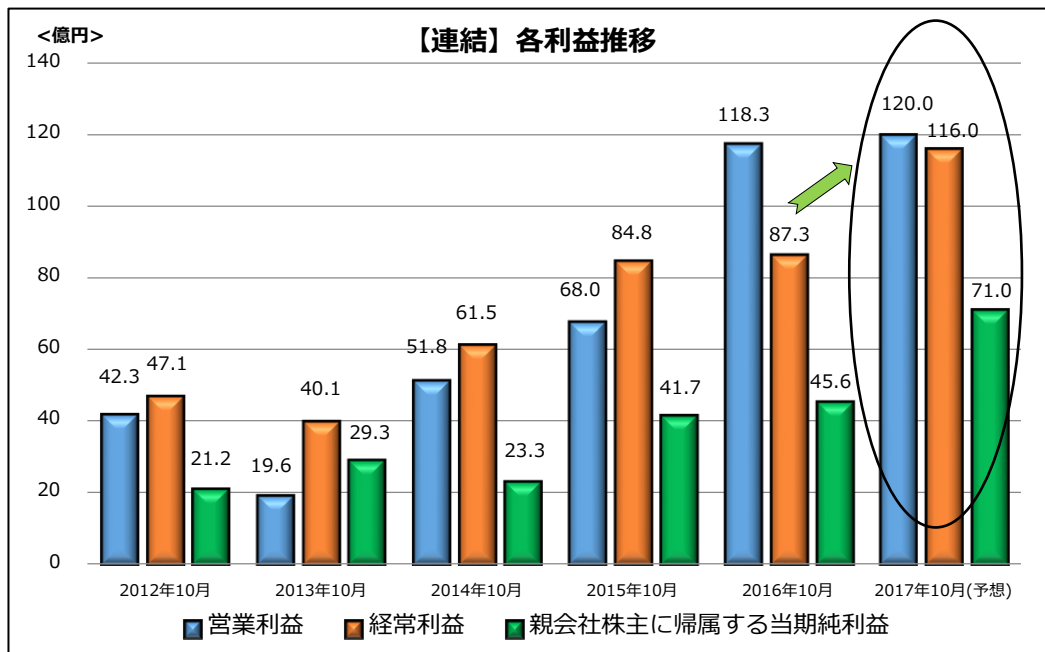
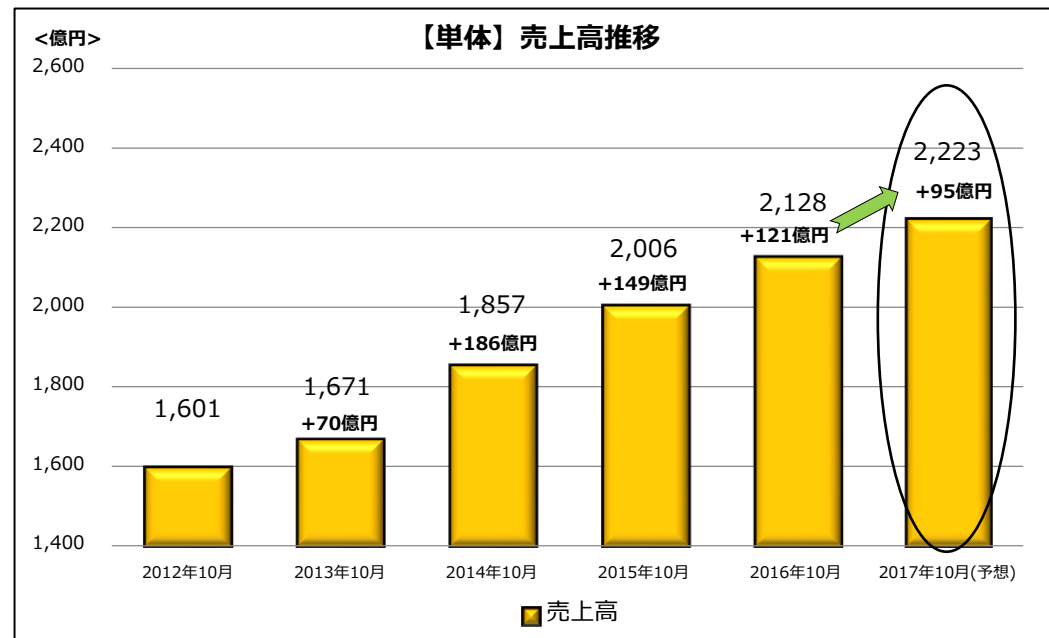
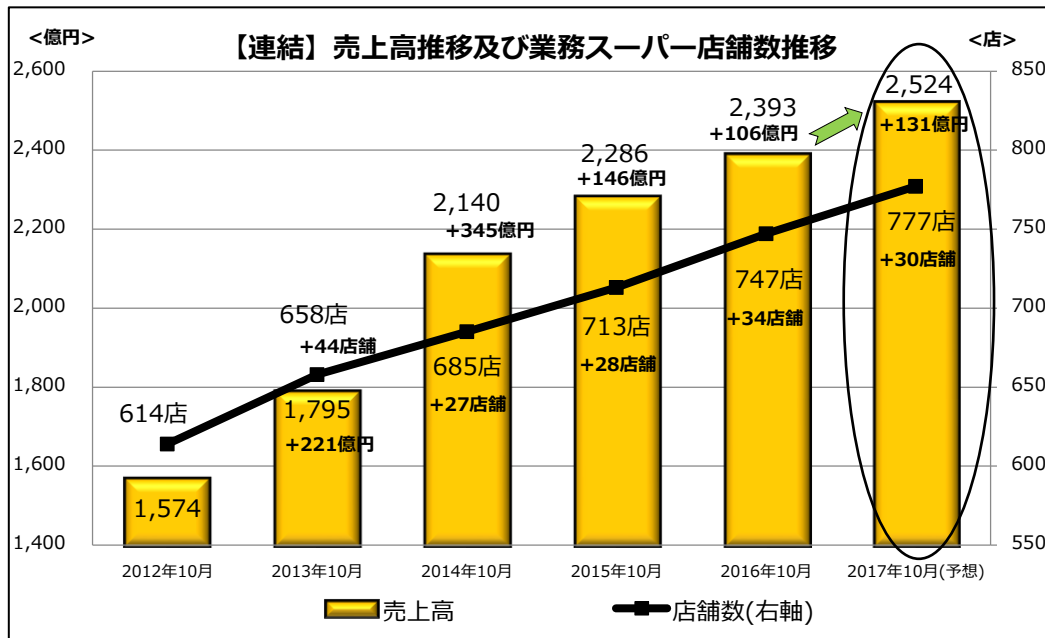


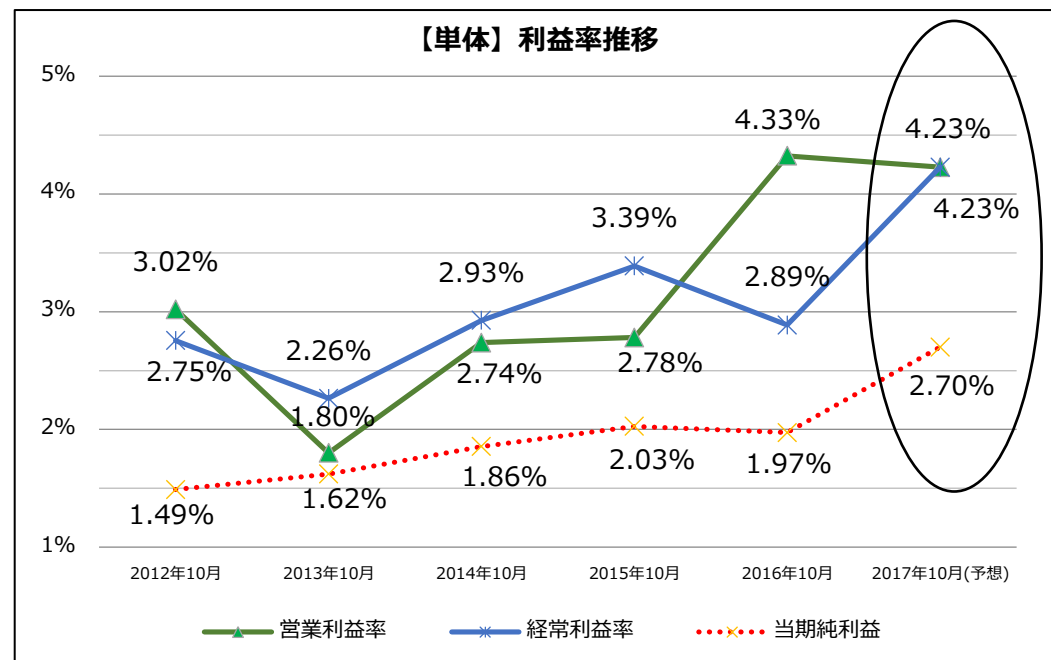
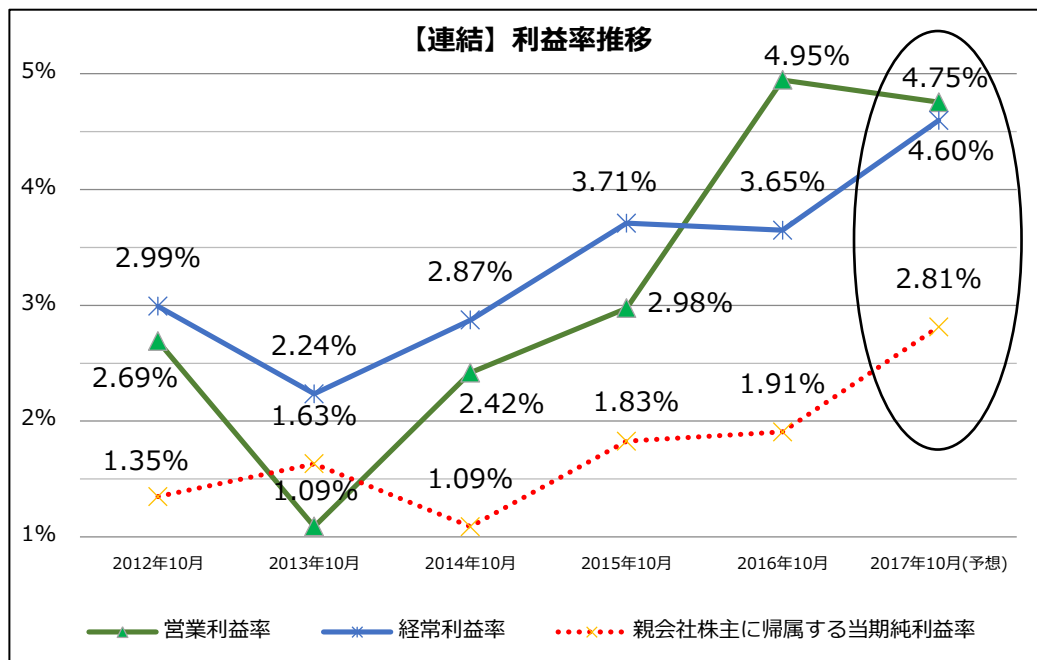
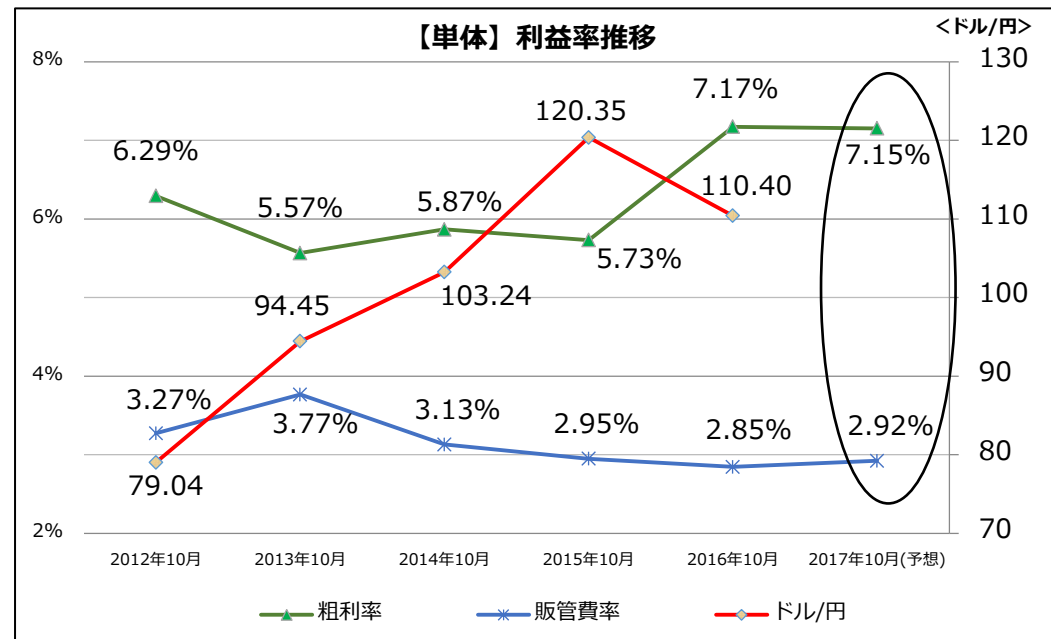
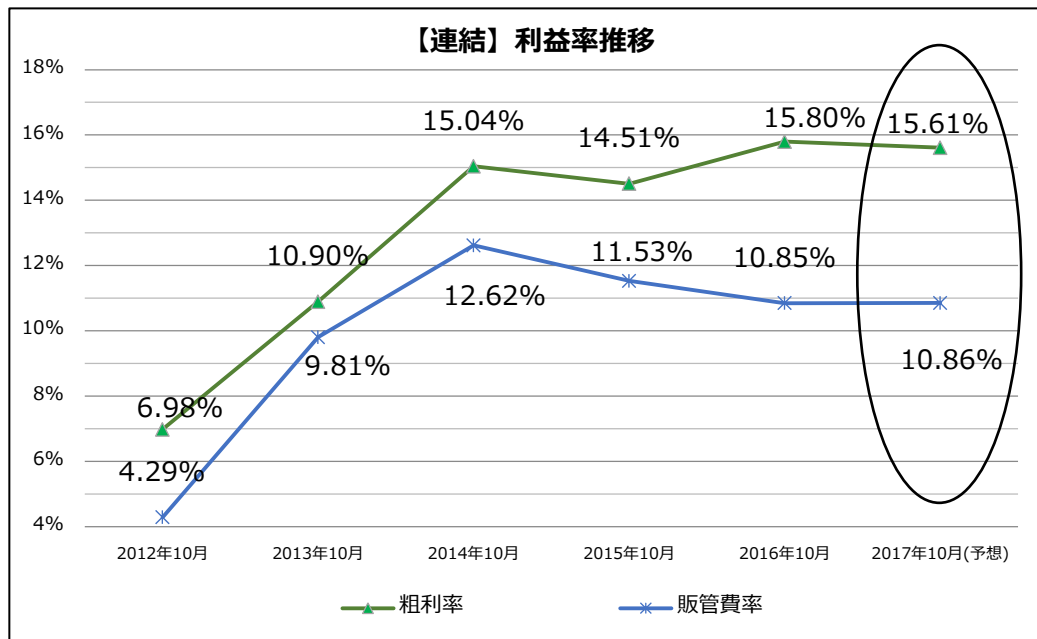
決算説明資料

2016年12月

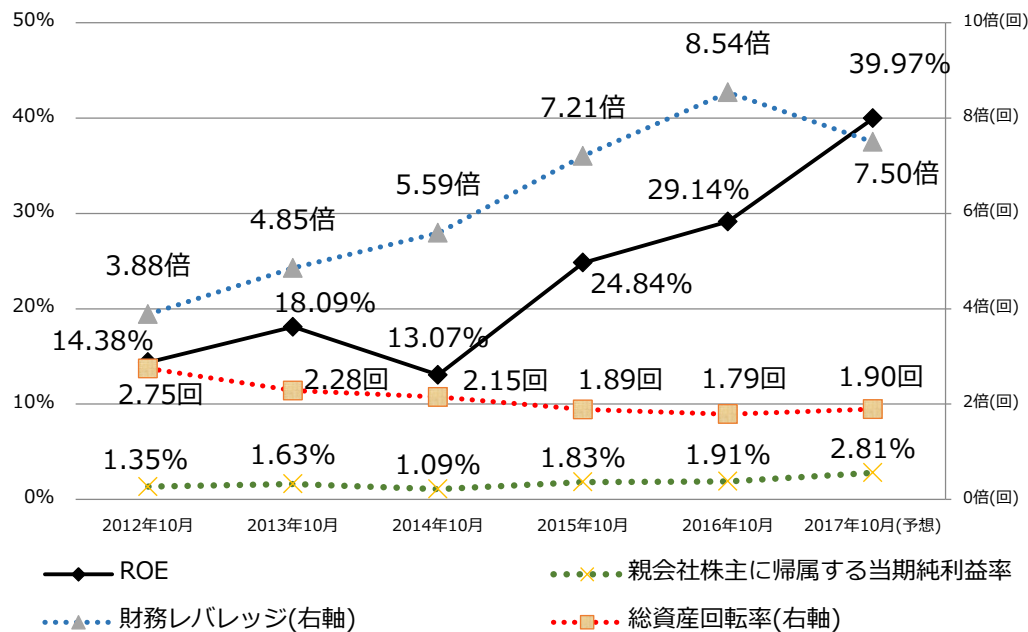


●業績ハイライト	1
●神戸物産グループの概要	5
●神戸物産グループの第一次産業・第二次産業	6
●神戸物産グループの第三次産業	
・業務スーパー	7
・ガレオン	9
・神戸クック	10
・クックイノベーション	11
●エコ再生エネルギー事業	12
●エコ再生エネルギー事業・観光事業	13
●テレビ・新聞などの媒体掲載情報(抜粋)	14
●2017年10月期計画	15

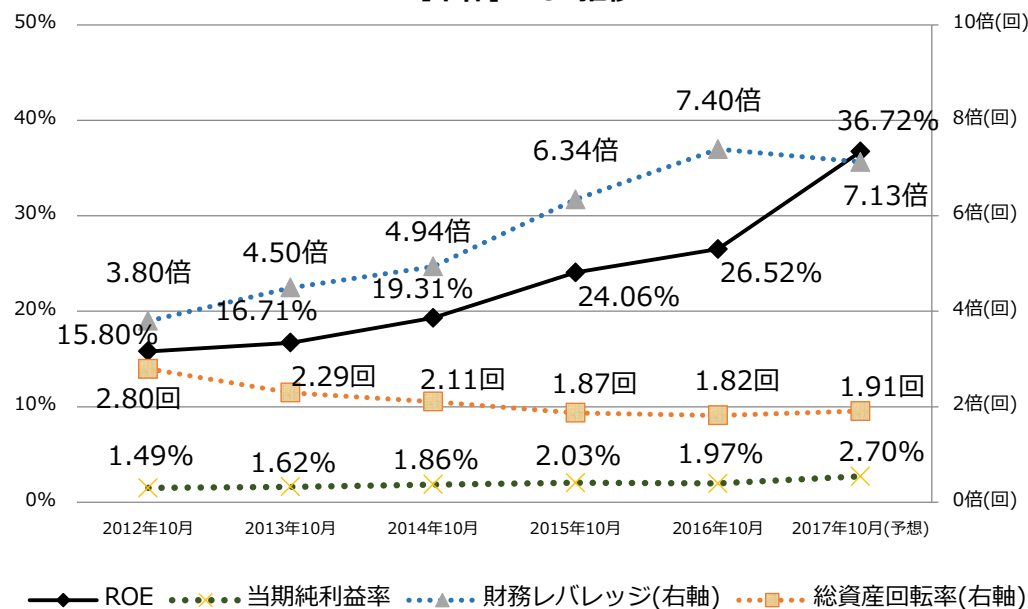




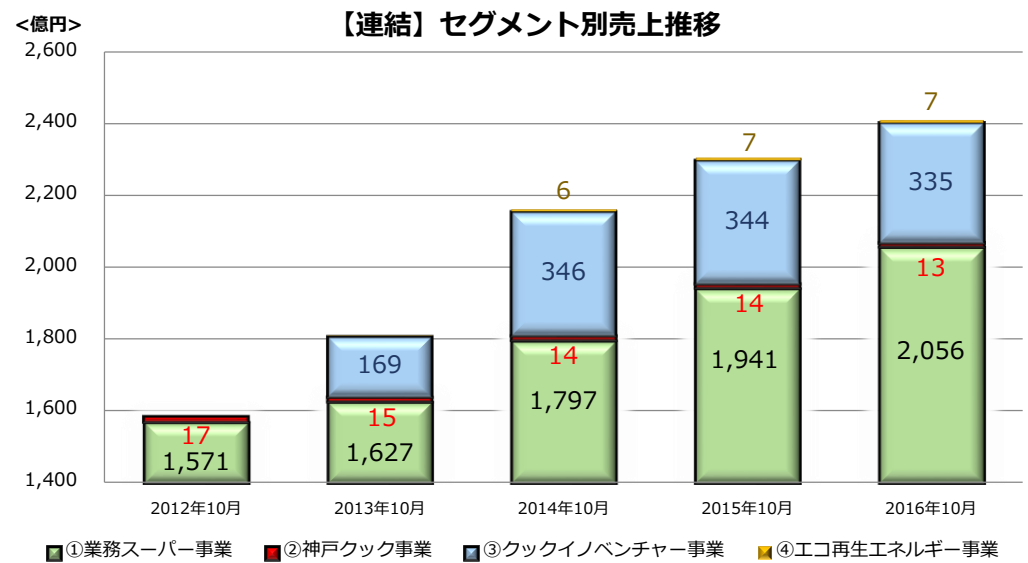
【連結】ROE推移



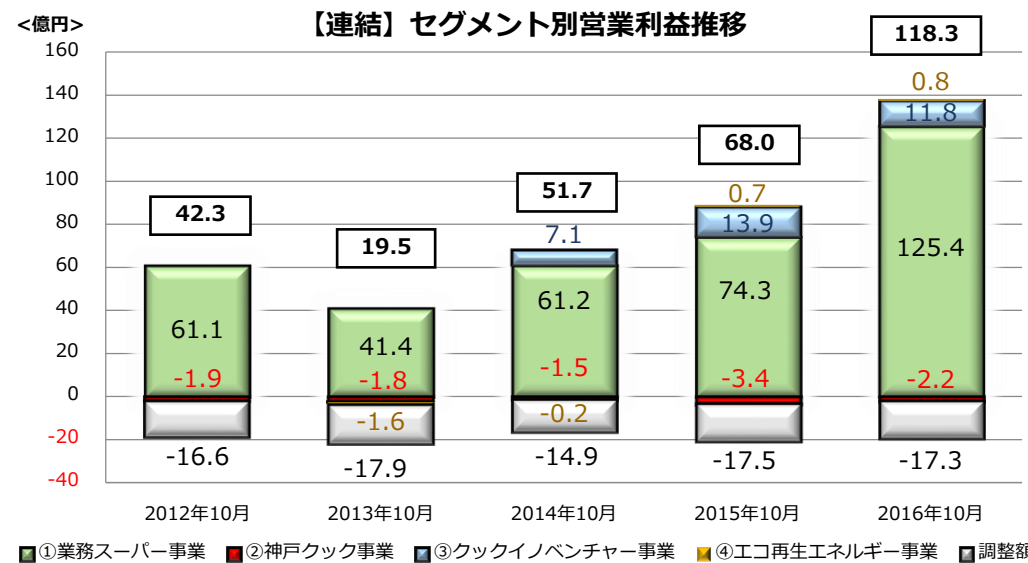
【単体】ROE推移

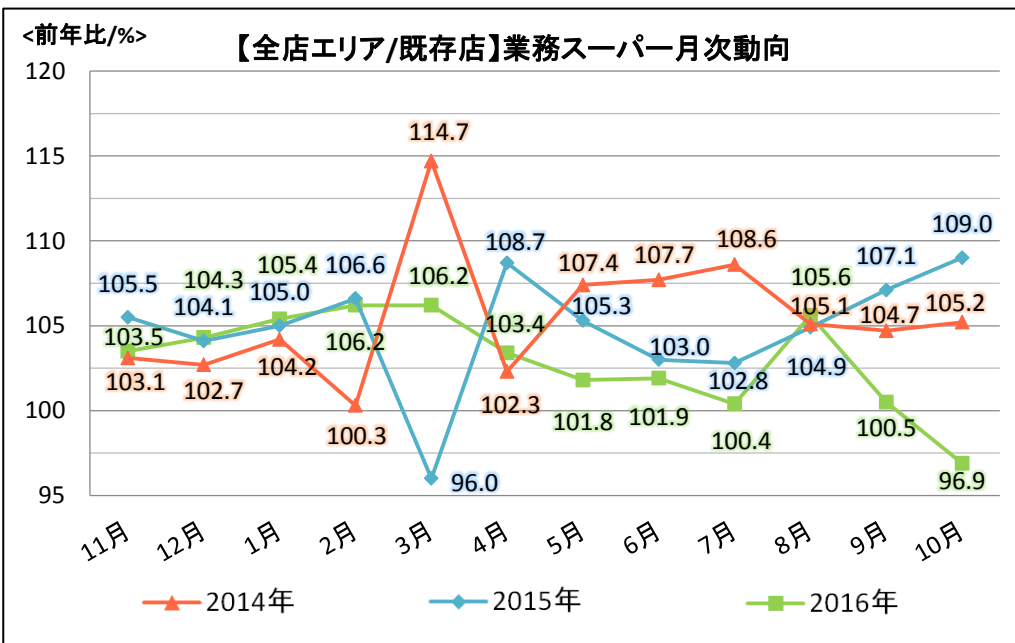
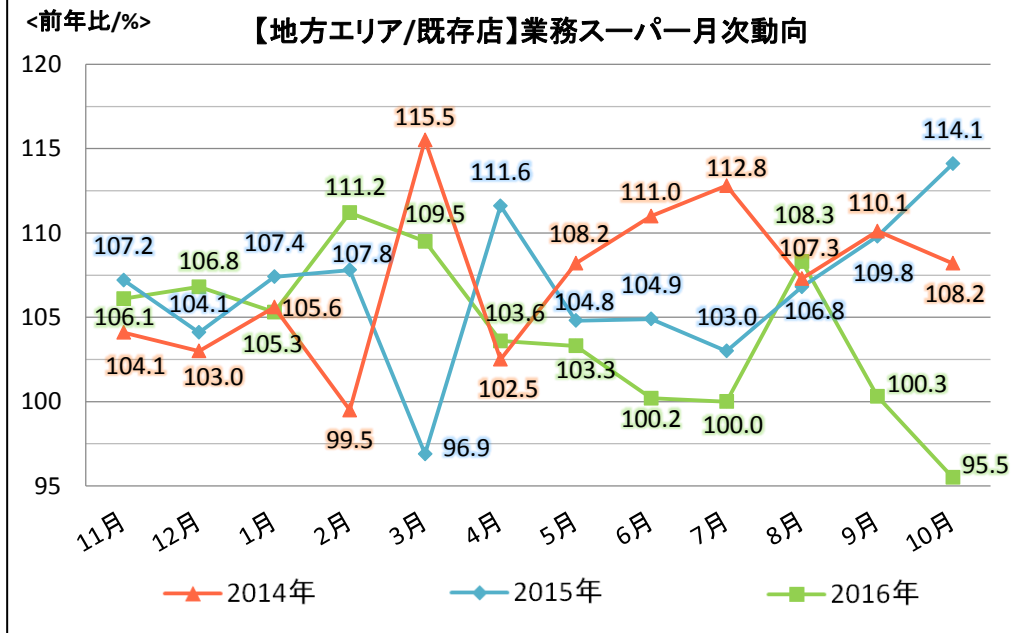
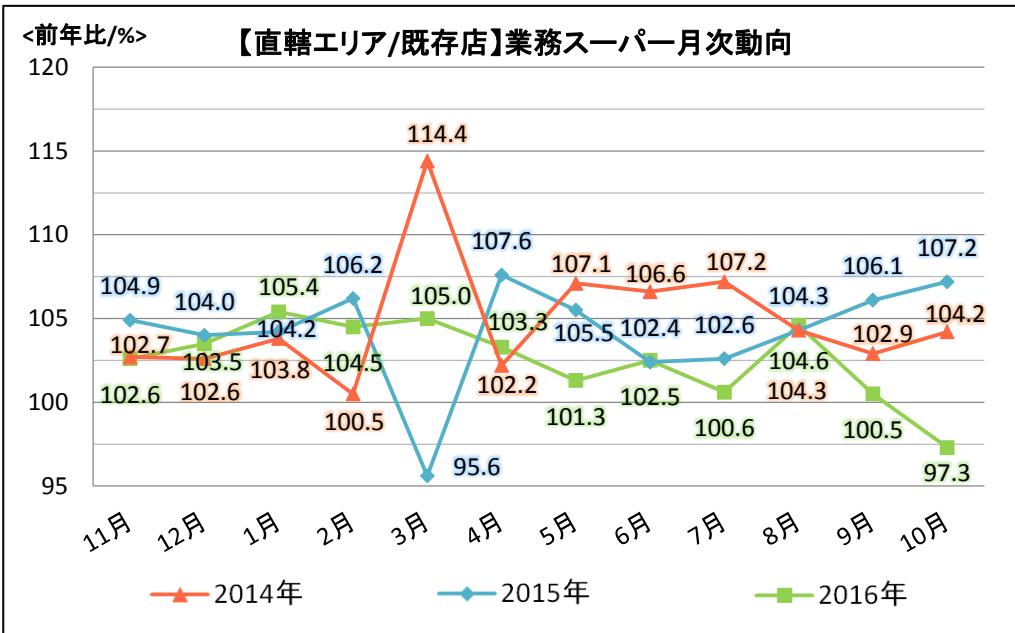


【連結】セグメント別売上推移



【連結】セグメント別営業利益推移





●関東直轄店舗数

(エリア：東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)
 2016年10月末：191店 ← 2016年4月末：185店 ← 2015年10月末：180店 ←
 2014年10月末：169店

●関西直轄店舗数

(エリア：兵庫県(淡路島除く)・大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県)
 2016年10月末：228店 ← 2016年4月末：223店 ← 2015年10月末：218店 ←
 2014年10月末：213店

●その他直轄店舗数

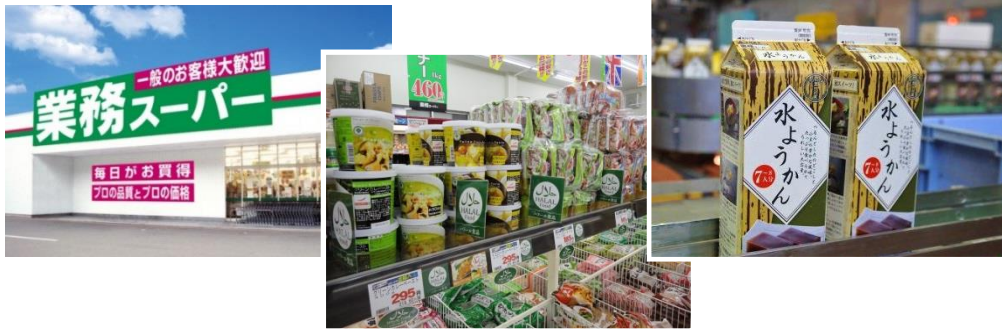
(エリア：北海道)
 2016年10月末：13店 ← 2016年4月末：13店 ← 2015年10月末：13店 ←
 2014年10月末：10店

●地方店舗数

(エリア：上記直轄エリア以外の県)
 2016年10月末：315店 ← 2016年4月末：309店 ← 2015年10月末：302店 ←
 2014年10月末：293店

業務スーパー事業

当社売上の約8割を占める主力事業です。
業務スーパー F C本部としての売上、加盟店への卸売などの他、グループの食品加工工場の損益もこのセグメントに分類されます。



神戸クック事業

当社が主体となり直営、またはF C本部として行っている中食・外食事業です。

惣菜店「Green's K」やビュッフェレストラン「神戸クックワールドビュッフェ」「Green's K 鉄板ビュッフェ」などがこのセグメントに分類されます。

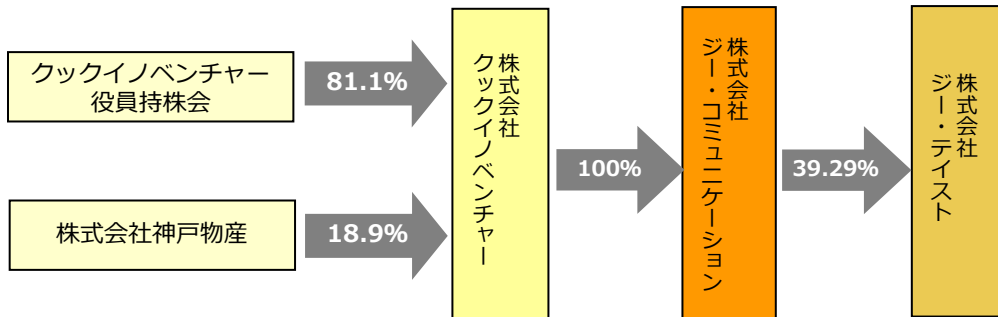


クックイノベーション事業

当社連結子会社であるジー・コミュニケーショングループが運営する外食事業や教育事業などが当セグメントに分類されます。

中でも、株式会社ジー・テイスト（東証 JASDAQ:2694）が運営する外食事業が主な事業です。

関連図



エコ再生エネルギー事業

2012年よりスタートしたメガソーラー発電事業を中心とした再生可能エネルギー事業です。今後は地熱発電など、メガソーラー発電以外の再生可能エネルギーを活用することも計画しております。



その他

温浴リゾート施設「ホットラグーン大分」や、北海道で計画している観光果樹園などがその他に分類されます。



第一次産業

農業・畜産業

<株式会社神戸物産エコグリーン北海道>

所有農業用地面積（2016年10月末現在）：約1,400ha
 第一次産業から第三次産業まで取り組む独自のスタイルを確立しております。

<KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnership>

所有農業用地面積（2016年10月末現在）：約2,900ha
 通期で小麦をはじめ、ミントやカモミールの栽培に成功いたしました。



水産業

宮城県石巻市で2隻の漁船を所有し、漁業を行っております。東日本大震災の復興支援も兼ねて、水揚げした魚介類は現地の市場に卸しております。



養鶏業

岡山県のグリーンポートリーにて「吉備高原どり」、群馬県の朝びき若鶏にて「上州高原どり」の養鶏を行っております。

当日処理された鶏を、当社独自の温度管理と菌数管理により新鮮なまま当日のうちに業務スーパーに納品しております。



第二次産業

国内外の自社工場

神戸物産むかわ工場
 大連福来休食品有限公司
 神戸物産（安丘）食品有限公司
 株式会社オースターエッグ
 株式会社ターメルトフーズ
 株式会社ソイクューブ
 秦食品株式会社
 株式会社マズゼン
 株式会社肉の太公
 株式会社麦パン工房
 宮城製粉株式会社

株式会社エコグリーン埼玉
 株式会社川口工業
 株式会社グリーンポートリー
 珈琲まめ工房株式会社
 ほくと食品株式会社
 豊田乳業株式会社
 株式会社富士麺業
 関原酒造株式会社
 菊川株式会社
 株式会社朝びき若鶏

合計 21社 24工場

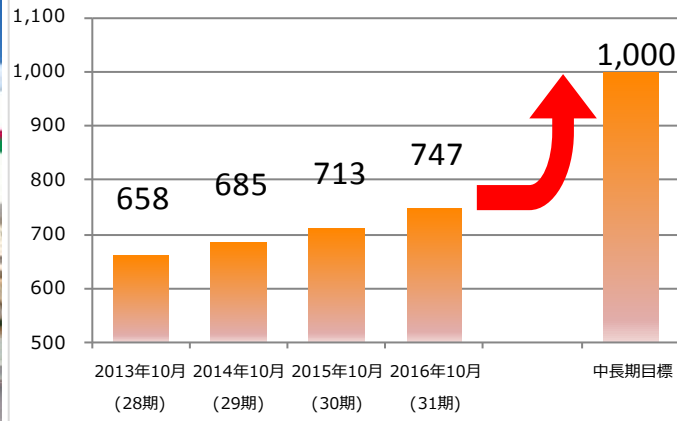


国内自社食品工場数 日本一

当社はこれまで、日本国内において自社食品工場の増強を図って参りましたが、その結果、日本国内での100%出資の食品工場所有数は21工場となり、食品小売業界で「日本一」(*)になりました。

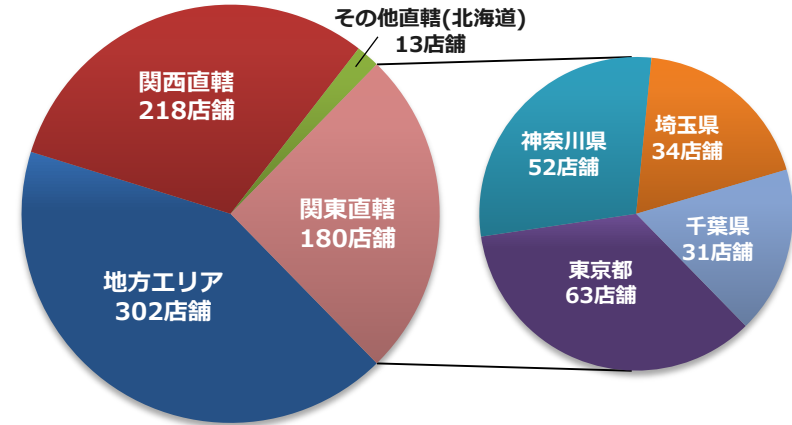
(*) 大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として2014年8月に調査

店舗数推移（単位：店舗）



地域別店舗数

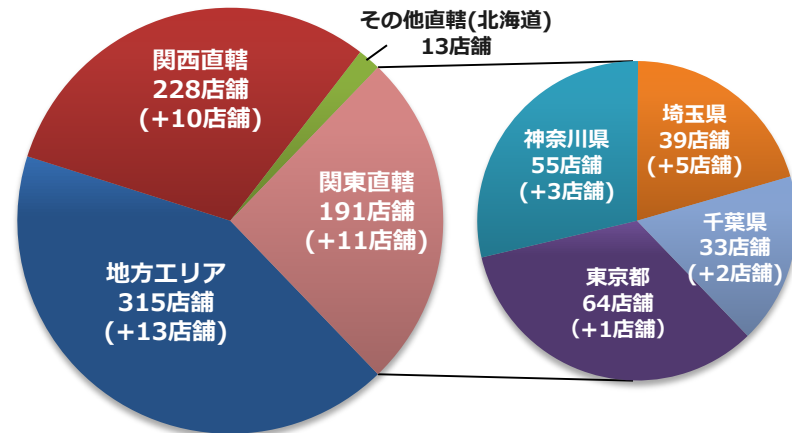
2015年10月末 **713店舗**



2016年10月期 **純増34店舗**

【当初目標】
純増25店舗
達成率**136.0%**!

2016年10月末 **747店舗**



関東直轄：東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県
 関西直轄：大阪府・京都府・兵庫県（淡路島除く）・奈良県・和歌山県・滋賀県
 その他直轄：北海道
 地方エリア：上記以外の県

類を見ない販管費の低さ

業務スーパーでは徹底的な「ローコストオペレーション」を実施することで約14%という圧倒的な販管費の低さを実現し、商品の販売価格を押さえながらも店舗に利益が残る仕組みを構築しております。例えば、人件費を削減するために「ダンボールのまま商品を陳列する」、「冷凍ケースや陳列棚を大きめの特別サイズにし、一度に1ケースの商品全てを品出しできる」、「発注などをシステム化し、データを自動処理する」といった工夫を行っております。



オリジナル商品の強化

国内の自社食品加工工場数は21工場となり、その所有数は**日本一**(※)の規模です。そこで製造される業務スーパーにしかない品質と価格のオリジナル商品は、多くのお客様から支持されております。

また、約50か国から直輸入している「世界の本物」の食品は、世界各国の本場の味をリーズナブルにご家庭でも味わっていただけると、大変好評です。



(※)大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として 2014年8月に調査

セールによる新規顧客の獲得

2015年10月期は**テレビCM**を活用した販売促進を行いました。2016年10月期は新たに**インターネット広告**と**宣伝カー**を活用し、業務スーパーの販売促進に注力いたしました。セールの実施で新しいお客様にご来店いただき、業務スーパーの魅力をより多くの方に伝えられるよう、今後も新たな取り組みを行ってまいります。

国内自社食品工場数日本一感謝セール

(2016年2月1日～3月31日開催)

食品小売業界で当社より売り上げ規模が大きく、目づ100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として調査を実施した結果、当社が「国内自社食品工場所有数 日本一」との結果となりました。その結果を受けて「国内自社工場数日本一感謝セール」を実施いたしました。



セールポスター



セールPOP(特価)



セールPOP(即戦力)

円高還元セール

(2016年9月1日～10月31日開催)

当社は、「世界の本物を直輸入」をコンセプトに約50ヶ国にわたる協力工場から多くの商品を自社輸入し、お客様に世界の本物の味をお届けしております。円高によって、これらの輸入品の仕入れ価格が下がったことによる利益をお客様に還元させていただきたいと考え、「円高還元セール」を実施いたしました。



セールポスター

また、広くお客様にセールの開催を知っていただくため、販売促進の一環として業務スーパーのオリジナル商品の一つである牛乳パックに入った「水ようかん」をモチーフにした「水ようかんカー」を走行いたしました。



水ようかんカー
(宣伝カー)

【業務スーパーへの出荷実績(前年比) : %】

全エリア	2016年10月期														
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期
既存店売上	103.5	104.3	105.4	106.2	106.2	103.4	104.8	101.8	101.9	100.4	105.6	100.5	96.9	101.1	102.9
全店売上	106.3	107.2	108.6	109.7	109.5	106.5	107.9	105.3	104.9	103.7	109.2	103.7	100.1	104.4	106.1

【新しいお客様の取り込み】

業務スーパーでも世界各国の輸入品を扱っておりますが、中には調理方法のわかりにくいものや、業務スーパーのお客様の需要とマッチしないものがございました。ガレオンでは輸入食品を求めてご来店いただけていることや、試食などの実施により、業務スーパーとは異なるお客様を取り込むことに成功しております。

【都市部への出店】

ガレオンは業務スーパーよりも小型店舗であるため、これまで業務スーパーでは出店しにくかった駅ナカやショッピングモールなど、都市部への出店も可能です。

【ガレオンと業務スーパーの相乗効果】

ガレオンの店舗が増え、スケールメリットが生まれることで、その商品を業務スーパーでも扱えるようになり、業務スーパーの品ぞろえの強化にもつながります。

店名の「ガレオン」は、16世紀半ばから18世紀に大型商船として世界中を航海し、活躍した帆船の型式「ガレオン」に由来しております。

ガレオンではその帆船のように世界の名物や魅力的な食品をお客様にお届けしております。

2015年12月17日 オープン

元住吉店（川崎市中原区）



2016年11月19日 オープン

大雄山ヴェルミ店（神奈川県南足柄市）



ガレオン
初のFC店舗!

2016年3月24日 オープン

クイーンズスクエア横浜店（横浜市西区）



輸入品の他にも日本各地の名産品などを取りそろえております。また、お菓子のつめ放題や試食の実施など、業務スーパーとは異なる施策を行っております。



ガレオンでは初めて本格的なカフェスペースを併設。新たな需要の取り込みを行っております。



神戸クックワールドビュッフェ

店舗数：15店舗（2016年10月末現在）

神戸クックワールドビュッフェとは

- 神戸クックワールドビュッフェは、世界各国の様々なお料理を時間を気にせずゆっくりとお召上がりいただけるビュッフェスタイルのレストランです。
- 店内では臨場感やワクワク感あふれるライブキッチンもあり、「できたて」、「おいしい」、「楽しい」を五感で感じていただけます。
- 神戸物産グループでは、独自の食品加工ノウハウを駆使し、六次産業の取り組みを外食事業にも活かすことにより、神戸クックワールドビュッフェでしかできないクオリティの高いオリジナルメニューを提供しております。

新たな取り組み

神戸クックワールドビュッフェでは、年間を通してお客様にお楽しみいただける様々なイベントを実施しております。

イベント期間には期間限定メニューの提供や、ガラポン抽選会等を行っております。お客様に何度も通っていただけるように、イベントごとに違った雰囲気演出しております。



■神戸クック事業のその他の業態



Green's K 鉄板ビュッフェ

店舗数：3店舗（2016年10月末現在）

ビュッフェとセルフクックが融合した新感覚レストランです。お客様ご自身で自由にメニューをアレンジいただけます。



Green's K

店舗数：10店舗（2016年10月末現在）

パーツごとに分けた材料を店内調理場で組み合わせることで、出来立ての惣菜やお弁当を提供する惣菜店です。



ジー・コミュニケーションズグループとの業務提携



2013年に神戸物産グループはジー・コミュニケーションズグループと業務提携いたしました。当社が取り扱う輸入食材や自社グループ工場の商品を株式会社ジー・コミュニケーションズが運営する外食店舗約800店舗に提供することで、当社はよりスケールメリットが生まれ、食材を無駄なく供給することが可能になります。また、ジー・コミュニケーションズグループは安定した仕入れに繋がることになり、シナジー効果を生み出しております。

当社は六次産業の活性化には第三次産業の強化が必要不可欠だと考えております。この業務提携により業務スーパー以外の第三次産業を拡大することで、第一次、第二次産業もさらに拡大させ、日本最大の六次産業を推し進めております。



メガソーラー発電

温室効果ガスであるCO₂の削減、将来的なエネルギー供給の安定化等の観点から、2012年11月よりメガソーラー発電事業を開始いたしました。

2016年10月末現在、北海道で4か所、兵庫県で4か所、福岡県で1か所、滋賀県1か所の計10か所で約**9.3MW**の発電を開始しております。



●稼働中発電所（北海道4か所、兵庫県4か所、福岡県1か所、滋賀県1か所）

発電所名	出力	初期投資額	売電額（想定）	投資回収年数
	(MW)		年額	
クック屋根太陽光発電所（兵庫県）	(29kw)	1,000万円	100万円	9年1か月
稲美町第一太陽光発電所（兵庫県）	1.0	2億8,500万円	4,300万円	7年5か月
稲美町第二太陽光発電所（兵庫県）	2.4	6億4,700万円	1億500万円	7年8か月
稲美町第三太陽光発電所（兵庫県）	1.1	3億3,200万円	4,600万円	8年4か月
むかわ町汐見太陽光発電所（北海道）	0.2	5,300万円	600万円	11年10か月
むかわ町大成太陽光発電所（北海道）	0.6	1億6,300万円	2,500万円	10年3か月
上毛町太陽光発電所（福岡県）	0.9	2億7,400万円	3,500万円	9年2か月
芦別太陽光発電所（北海道）	2.2	6億5,600万円	8,200万円	11年6か月
平取町太陽光発電所（北海道）	0.4	1億1,800万円	1,500万円	11年3か月
竜王町太陽光発電所（滋賀県）	0.5	1億2,500万円	1,500万円	10年11か月
合 計	9.3	26億6,300万円	2億8,300万円	-

※福岡県田川市及び嘉麻市の発電所は、自社運営よりも売却によるメリットの方が大きいと判断し、売却いたしました。そのため、稼働発電所数などが前年実績より減少しております。

木質バイオマス発電

北海道白糠郡白糠町では新たに木質バイオマス発電事業をおこない、白糠町で取り組みが進められているヤナギなど早生木の利活用と栽培などにも協力しながら、地域に根差した自然エネルギー循環型モデルを構築することが当事業の目的です。



地熱発電

日本は世界で有数の地熱資源大国です。地熱は無限に近い地下エネルギーであり、化石燃料（石炭、石油、天然ガス等）の埋蔵量が極めて少ない日本にとって、世界に誇れる地下資源です。

また、地熱発電は再生可能エネルギーの中でも天候・昼夜に左右されず、安定した発電が可能で、発電効率が良く、なおかつ地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出が少ない、エコロジークリーンエネルギーです。



大分県玖珠郡九重町

観光事業

地熱エネルギーを活用した観光事業に取り組んでおります。

【大分県】温浴リゾート施設「ホットラグーン大分」 <http://www.hotlagoon-oita.com/>

発電に使われる地熱（温水）を二次利用する温浴リゾート施設「ホットラグーン大分」をオープンいたしました。エネルギーを無駄なく活用し、地形を生かした環境にやさしい施設です。露天風呂は水着で入浴できますので、ファミリーやカップルでもお楽しみいただけます。

2016年10月15日 オープン



外観



露天風呂（全 景）



露天風呂（棚 湯）



露天風呂（岩風呂）



地熱井

【北海道】観光果樹園

化石燃料を使わずに地熱（温水）でハウス内を温める温水エコハウスを北海道大沼地区で運営しております。この温水エコハウスを活用し、ファミリーで楽しめる観光果樹園を計画しております。



温水エコハウス



ハウス内の様子（パパイヤ）

2016年10月期は、業務スーパー独自の特徴である安さの秘密や、冷凍食品のバリエーションの多さ、自社工場のオリジナル商品、ハラールに関する取り組みなど、他社にはない魅力を紹介する企画が目立ちました。

放映・掲載	媒体名	種別	紹介事業	概要
2015.11.20	フジテレビ「バイキング」	テレビ	業務スーパー	タレントが店内のそれぞれのコーナーで人気商品上位を当てるといった企画。肉の太公の徳用ウインナー、ソイキューブのチーズケーキなどを紹介。
2015.12.03	All About「超便利 & 使える！業務スーパーの冷凍野菜ベスト5」	WEB ニュース	業務スーパー	生活コラムニストももせ いづみ氏が業務スーパーの冷凍野菜を時短、節約になるといった内容で紹介。
2016.01.10	フジテレビ「平成教育委員会2016正月」	テレビ	業務スーパー	ハラールマークを選ぶ問題で、ハラール商品が売っているお店として業務スーパーの売り場を紹介。
2016.03.30	ぴあ「究極の食べ放題 関西版」	雑誌	ワールドビュッフェ 鉄板ビュッフェ	食べ放題のお店のコーナーで、メニューや料金、特徴などの店舗概要を掲載。
2016.04.11	Ameba.tv「原宿アベニュー」	スマホ テレビ	業務スーパー	面白い商品として、豊田乳業の牛乳パックデザートを紹介。レアチーズはスタジオで試食。
2016.04.19	晋遊舎「MONOQLO」	雑誌	業務スーパー	「コストコ vs 業務スーパー vs 肉のハナマサ 激安大量スーパー活用術」と題して、商品のレビューやアレンジ方法などを詳しく紹介。
2016.06.27	日本テレビ「ZIP!」	テレビ	ガレオン	イギリスのEU離脱による円高の影響として、輸入品の値下げに関するインタビューを撮影。
2016.09.24	学研プラス「Get Navi」11月号	雑誌	業務スーパー	「『安い』は正義！コスパ良品200」というテーマで、「ボリューム派なら業務スーパーフードで間違いない！」とレアチーズ、ミルクチョコレート、ポテトチップス(サワークリーム&オニオン)を紹介。
2016.09.26	朝日放送「きよし☆黒田の今日もへえーほおー」	テレビ	業務スーパー	大人の社会学習「スーパーマーケット学」というテーマで、安さの秘密・陳列スタイルなどを紹介。豊田乳業のカスタードプリンを試食。
2016.10.07	主婦と生活社「CHANTO」11月号	雑誌	業務スーパー	「今月のはやりもの通信」というトレンドアイテムを紹介するコーナーで、豊田乳業のコーヒーゼリー・杏仁豆腐・レアチーズの3種類を「味もコスパも◎！」と紹介。
2016.10.17	TBS「白熱ライブ ビビット」	テレビ	業務スーパー	青果が値上がりしているのを受けて、冷凍野菜が注目されているという趣旨で、業務スーパーが冷凍野菜を取り扱っていることを紹介。また、コーナーでは冷凍野菜の特徴も紹介。

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結	2016年10月期実績	百万円 239,266	百万円 11,833	百万円 8,729	百万円 4,560	円 銭 174.46
	2017年10月期予想	252,400	12,000	11,600	7,100	271.61
	前年比 (%)	105.5	101.4	132.9	155.7	-
単体	2016年10月期実績	212,781	-	6,142	4,197	160.60
	2017年10月期予想	222,300	-	9,400	6,000	229.53
	前年比 (%)	104.5	-	153.0	142.9	-

【当社の取り組み課題】

- 業務スーパー店舗数の増加（2017年10月期 純増30店舗）
- 自社工場商品や輸入商品など、PB商品の開発強化
- 安全・安心確保のための商品・品質管理強化
- 神戸クックワールドビュッフェの店舗拡大
- 時間コストを削減し、ムダ・ロス・非効率を徹底的に排除
- 自己資本比率を高め、財務体質を改善
- ガバナンス体制の強化
- 人財の育成の強化



- 本資料には、2016年12月15日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承ください。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
経営企画部門 IR・広報 花房・森下
TEL：079-458-2848
FAX：079-454-2300